



LET'S PLAY Indiaca

28 2005.7

〒101-0061

東京都千代田区三崎町2-20-7

水道橋西口会館内

TEL.03-3512-2801

FAX.03-3512-2802

E-mail: JIA@japan-indiaca.com

Japan Indiaca Association

● (社)日本インディアカ協会

社団法人 日本インディアカ協会

平成17年度事業計画 (抜粋)

2004年を象徴する言葉が「災」になったように、新潟中越地方を襲った大地震、スマトラ沖大地震による大津波により空前の大被害をもたらしてしまった。特に新潟中越地震では、我々のインディアカ仲間も大きな被害を受けている。心からお見舞い申し上げるとともに、一日も早い復興をお祈りしております。

このような中であって2004年8月21日～24日には、茨城県つくば市において「第2回インディアカ世界選手権大会」が開催され、世界6カ国200数十名の選手役員が一堂に会し熱い戦いが展開され、国際親善・交流が十分に行われ、多大の成果を上げて終了した。

各レベル(都道府県・ブロック・全国・国際)の大会は徐々に整備され、大会参加のニーズは満たされていると思われる。

組織の充実発展は、会員、公認審判員の拡大と共にその資質の向上にも努めなければならない。また、組織を支える人材と共に重要なことは、インディアカの今後の進むべき方向を考え、示さなければならない。

一方、会員、公認審判員の全国分布を見ると、都市部にその数が集中し、都市部以外の道府県との差が顕著である。

本年度の重要課題として昨年に引き続き都市部と地方との差を少しでも縮めるため、積極的な対策を講じたい。具体的には日本協会から委嘱された認定員に協力を仰ぎ、最低1年間に1～2回の「普及審判員認定講習会」を開催するよう強くすすめ、人材数格差を少しでも縮めたいと考える。

【競技会の開催】

【各種全国大会】

- 『第11回(2005年ジャパン フレンドシップ インディアカ リーグマッチ)』
 - ・2005年5月29日(日) 東京都体育館 128チーム(700名)
 - ・日本インディアカ協会の個人会員、公認審判員を対象にして毎年1回開催され、日頃の練習の成果の発表の場として、会員相互の親睦・交流の場として評判の高い大会である。
- 『第1回全日本インディアカトーナメント』
 - ・2005年5月28日(土) 東京都体育館 80チーム(480名)

この大会は、平成17年度から新しく開催されるも

ので、今回が第1回大会となる。

市町村大会→都道府県大会→ブロック大会へと組織的に連動した初めての試みである。以後毎年開催したいと考えている。

20数年の歴史の中で、いくつかの組織は、自由に参加者を募り「交流親善大会」と称して、市町村協会がブロック大会と同じレベルの大会を開催し、ルールをはじめ、参加者の所属協会が困惑している現実がある。日本協会としては、ブロック大会、全国大会のあり方を見直し、その特徴や意義を盛り込んだ大会を開催したい。

●『第28回全国インディアカ大会』

・2005年9月18日(日)

東京都武蔵野市「武蔵野市総合体育館」

80チーム(480名)

「第59回全国レクリエーション大会」の中で開催される。

●『第18回全国スポーツ・レクリエーション祭』

・2005年10月1日(土)～10月4日(火)

岩手県花巻「花巻総合体育館」 48チーム(480名)

【ブロック大会】

●『北海道・東北ブロックインディアカ大会』

・2005年9月11日(日)

山形県山形市「山形市スポーツセンター」

60チーム(360名)

●『関東甲信越ブロックインディアカ大会』

・2005年9月4日(日)

埼玉県所沢市「所沢市民体育館」 80チーム(480名)

●『東海・北陸ブロックインディアカ大会』

・2005年10月30日(日)

岐阜県関市「関市総合体育館」 60チーム(360名)

●『中・四国ブロックインディアカ大会』

・2005年6月12日(日)

岡山県倉敷市「水島緑地福田公園体育館」

72チーム(400名)

●『関西ブロックインディアカ大会』

・2005年5月15日(日)

兵庫県西宮市「兵庫県立総合体育館」

48チーム(250名)

●『九州・沖縄ブロックインドアカ大会』

未 定

【競技規則の改正及び作成】

この度、平成13年の競技規則改正以来、多方面から数々のご意見並びに励ましをいただき慎重に検討を加えた、総務委員会の議を経て、別添「インドアカ競技規則改正案」とし、平成18年4月から実施する。この感、周知の徹底を図り、円滑に移行できるように努めることとする。

また、ジュニア用インドアカ競技規則を制定し、次世代を担う人材を養成してゆく。

【国際交流事業】

〈International Indica Association〉

・定例理事会の開催。

〈期 間〉：2005年5月14日（金）～16日（土）

社団法人 日本インドアカ協会

平成16年度事業報告（抜粋）

平成16年度は、大自然の猛威により日本はおろか世界中に大きな被害を与え、つらい1年間でありました。その悲しみを乗り越え一日も早い復興をお祈りするものである。

このような状況の中にあって、日本インドアカ協会は、過去に例をみない大きなかつ重要な意味を持つ大会である。「2nd Indica World Championships in Tsukuba」を組織し、大きな成果をあげて終了することができた。ごく限られた人数のスタッフが言葉の壁を乗り越え、日夜寝る間も惜しんで活動していただいた賜物と深く感謝している。

また、毎年楽しい雰囲気で開催されておりました交流大会「Japan Friendship Indica League Match」は、会場である「東京体育館」の都合で開催することができず、多くの選手、愛好者にご迷惑をおかけいたしました。

一方、個人会員、公認審判員については、事務手続きの合理化、有効期限が短すぎるという一般会員、各協会からの声を受け、平成13年に実施いたしました「各資格有効期限の延長」による更新者数の谷間にあたり、更新対象者が著しく少ない年にあたってしまった。従って日本協会をはじめ、各都道府県協会においても組織運営に大きな影響を与えたことは否めない。しかし、この逆境を乗り越えたことも事実であり、この試練はこれからの組織運営にも必ず生かされると信じる。

インドアカ競技規則については、昨年度末に開催されました「正会員総会」に改定案が提案され、平成18年4月1日から実施されることで承認された。17年度は改定部分の理解を深める活動を実施することになっている。

【競技会の開催】

〔国際大会〕

「2nd Indica World Championships in Tsukuba」

・2004年8月21日（土）～24日（火）

・茨城県つくば市「つくばCapio」

※詳細は別掲

〈場 所〉：ベルリン

〈インドアカのアジアへの普及〉

国際インドアカ協会は、ヨーロッパだけではなく、インドアカを世界中に広げて行くことを目的に掲げている。

中でもアジアに於けるインドアカの普及は、日本が進出しなければならない。

アジア各国の情報を収集し、交流する機会を見つけると同時に、在留しているアジア各国の学生、一般人との交流も計画していきたい。

また、多様なイベントを開催している団体・旅行社からの勧めもあり、タイへの普及を考えていく。

・〈タイ研修旅行〉 タイ（主にチェンマイ市）在住の市民とのインドアカによる交流

・〈期 日〉 未定

・〈参加費〉 1名：150,000円～180,000円位

〔全国大会〕

1. 「第17回全国スポーツ・レクリエーション祭」

・2004年10月3日（日）～10月4日（月）

・福井県大野市「大野市エキサイト広場総合体育館」

・48チーム（480名）

2. 「第27回全国インドアカ大会」（第58回全国レクリエーション大会）

・2004年9月19日（日）

・鳥取県鳥取市「鳥取市民体育館」

・34チーム

3. 「第7回全日本シニアインドアカ大会」

兼「北海道・東北ブロックマスターズインドアカ大会」

・2004年6月20日（日）

・北海道函館市「函館市民体育館」

・64チーム

〔ブロック大会〕

1. 「北海道・東北ブロックインドアカ大会」

・2004年9月12日（日）

・宮城県白石市「白石市文化体育活動センター」

・66チーム

2. 「関東甲信越ブロックインドアカ大会」

・2004年6月27日（日）

・神奈川県横須賀市「横須賀市総合体育館」

・80チーム

3. 「東海・北陸ブロックインドアカ大会」

・2004年9月5日（日）

・愛知県豊橋市「豊橋市総合体育館」

・79チーム

4. 「関西ブロックインドアカ大会」

・2004年10月3日（日）

・大阪市「大阪府立体育会館」

・24チーム

5. 「中・四国ブロックインドアカ大会」

・2004年5月23日（日）

- ・高知県南国市「南国市立スポーツセンター」
- ・84チーム
- 6.「九州ブロックインディアカ大会」
- ・2004年11月21日（日）
- ・長崎県島原市「島原復興アリーナ」
- ・49チーム

【国際交流】

＜インディアカ国際審判インディアカ資格取得者＞

1. 坂口 進（埼玉県） 2. 佐伯加寿美（埼玉県）

- | | |
|---------------|----------------|
| 3. 中嶋 研一（千葉県） | 4. 塚原 桂子（千葉県） |
| 5. 千葉 勝美（千葉県） | 6. 橋本 邦男（広島県） |
| 7. 伊藤 昭治（愛知県） | 8. 米田 穂積（東京都） |
| 9. 本沢 光一（栃木県） | 10. 前原 良啓（東京都） |
| 奥田 幸夫（千葉県） | 山崎 憲（東京都） |
| 長谷川忠信（神奈川県） | 鴻野真知子（大阪府） |
| 瀬戸 章嘉（大阪府） | 西田 真弓（大阪府） |
| 松原 京子（大阪府） | 宮城 重男（東京都） |
| 石井不士男（東京都） | 塩脇 紀子（千葉県） |
| 田口 久男（千葉県） | ※番号付きは16年度取得者 |

【全国大会】

《1st All Japan Indiacca Tournament》

・去る5月28日（土）「東京体育館」で開催された標記大会は、全国5ブロックの代表5部門（シニア女子、シニア混合、一般男子、一般女子、一般混合）62チームによって熱い戦いが繰り広げられた。

インディアカの頂点を極めるこの大会は、全国大会にふさわしい最高レベルのプレーが展開され、終始興奮と感動につつまれ、インディアカ25年の歴史の集大成とも言える大会であった。上位入賞チームには、2006年8月10日（金）～14日（火）にエストニアのヴィリヤンディで開催される「第2回インディアカワールドカップ」に参加する資格が与えられる。

結果は別記の通りとなっている。

＜シニア女子の部＞

- 優勝 「ブルーウイング」 埼玉県
準優勝 「フォルテシモ」 千葉県
第3位 「スバルY・S」 埼玉県

＜シニア混合の部＞

- 優勝 「ファースト」 埼玉県
準優勝 「WOODS INDIACA CLUB」 愛知県
第3位 「フェニックス」 千葉県

＜一般男子の部＞

- 優勝 「ブラックイーグルス」 埼玉県
準優勝 「HFM」 千葉県
第3位 「トロビアン」 埼玉県

＜一般女子の部＞

- 優勝 「びたみん」 埼玉県
準優勝 「ザ・イーザ」 埼玉県
第3位 「アルファ」 千葉県

＜一般混合の部＞

- 優勝 「天元」 埼玉県
準優勝 「プラスワン」 埼玉県
第3位 「すずらん」 千葉県

《'05 Japann Friendship Indiacca League Match》

・5月29日（日）「東京体育館」で第1回トーナメントに引き続き、全国から113チームが参加して盛大に開催された。

この大会は交流・親睦を目的とし同じグループが協力して大会を創り上げていくものである。

各部門のバランスをとって全体を8グループに色分けし、そのカラーのTシャツをユニフォームにして競技に参加し、対戦毎の得点を集計して優勝グループを決定する方式で行っている。従って個々のグループの順位は決まらず、グループの順位が決定され表彰される。

＜優勝＞「グリーン」

構成チーム：

- 湖北台C（千葉県） 石川のんき会（茨城県）
八王子六体インディアカ（東京都） PEACE（千葉県）
放虎クラブ（長崎県） シャトルランナーズ（埼玉県）
MAX（埼玉県） ミックス・クイーンズ（千葉県）
びあブルー（埼玉県） レインボー（千葉県）
スマイル（愛知県） 総和クイーン（茨城県）
ザ・イーザ（埼玉県） トーテム（東京都）

＜準優勝＞「ブルー」

構成チーム：

- DREAM（栃木県） チームにくきん（千葉県）
Silk（埼玉県） 霞ヶ浦マロンズ（茨城県）
ピンクパンサー（埼玉県） 御殿場愛好会（静岡県）
FUSSA（東京都） 秦野ドリーム（神奈川県）
武蔵野市ミセスフレンド（東京都） フェアリー（千葉県）
遊朋倶楽部（埼玉県） ファミリー探検隊（栃木県）



大会前段ア・ラ・カ・ル・ト

2004. 8. 18 ~ 21

成田空港お迎え 18日



スタッフミーティング
19日



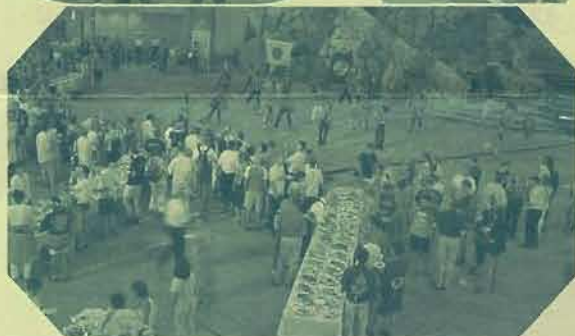
今日から6日間
頑張って運営を...



歓迎パーティー-20日
つくばセンターひろば
参加者300名



掘って掘って
担いで担いで...



国際協会総会
21日



GENERAL ASSEMBLY



イタリアの加盟を
承認します。

市民国際交流大会
21日

市民と大会参加選手が合同で
チームを編成しての交流試合



ようこそ日本へ...
歓迎します。

開会式 21日
カピオホール



いよいよつくば大会
の開会です!



今日初公開のつくば童謡
合唱団といいまして...



興奮すると逆立ちをした
くなる... (ヴィクトル)



第2回インディアカ世界選手権大会 2004.8.18～21（つくば市）

つくば「カピオアリーナ」

対戦結果：ドイツとエストニア“互角の実力”

	金	銀	銅
Men	Germany	Estonia	Luxembourg
Women	Estonia	Germany	アルファ・千葉
Mixed	Estonia	プラスワン・埼玉	Germany
Seni-Men	Germany	Estonia	WOODS・IC愛知
Seni-Woman	Germanv	Estonia	Switzerland
Seni-Mixed	Estonia	鳥根アクアス	Switzerland

アリーナ正面



ジャンプ！ブロック！
ムム…届かないか



余裕の本部記録席

押塚常務とIIAヴィクトル
会長の真剣な相談は…



お互いお・つ・か・れ・さ・ま



金・銀・銅メダルいくらかでもあるよ



いよいよ、やっ
と私の出番ネ



記録も当然国際審判員が



“Senior-Womenの表彰”日本は…残念！



メダルを貰えた人、貰えない人も、一緒に…



4年後ルクセンブルグでまた会える日を…

ジュニア部門の競技規則の策定

ジュニア部門の競技規則については、日本協会の果たすべき役割として、身障者、ジュニア等あらゆる人を対象としたインディアカの普及である。

特にこれからのインディアカを担う青少年に普及することとは重要な課題であることから、新しい部門の開拓としてジュニアのための競技規則を定めジュニアへの普及を図る。

◎インディアカ競技規則（ジュニア用）◎

※現行競技規則との相違点のみ記載する。

競技場、設備および用

- 1 コートおよび区画線
- 1-2 区画線
コートは幅4cm～5cmの区画線によって囲まれ、いかなる場合でもボール（付属物を含む）および審判台を除く固定障害物より最小限2m離れている必要がある。コートの長い側の区画線をサイドライン、短い側をエンドラインという。両サイドラインの中心線を結ぶ直線をセンターラインという。また、各サイドの攻撃エリアは、中心線より両サイドに2.02mの線によって区別される。（バックアタックラインはバドミントンのショートサービスラインと同じ）
- 1-3 サービスエリア
サービスエリアは、エンドライン後方でサイドライン想像延長線の内側。
- 2 ネット
- 2-2 高さ
- 2-2-1 ネットの高さは、1.85mから2.25mとする。
男子：2.00m（13歳～15歳）
女子：1.85m（13歳～15歳）
男女混合：2.00m（13歳～15歳）
男子：1.85m（11歳～12歳）
女子：1.85m（11歳～12歳）
男女混合：1.85m（11歳～12歳）
- チーム
- 4 チーム
- 4-1 チームの構成
- 4-4-1 競技者の数は、1チーム5名とする。（やむをえない場合は4名でもよい）
- 4-5 競技者の位置および役割
- 4-5-1 前列競技者、②前列右、③前列中央、④前列左は、攻撃を担当する。後列競技者、⑤後列左、⑥後列右は、守備を担当する。後列競技者は、攻撃エリアに入ることでもできるが、ネットの高さを越える位置から相手コートにインディアカボールを打ち込むことはできない。バックアタックラインは攻撃エリアとみなす。後列競技者のブロック行為は認めない。
- 競技規則
- 8-3 サービス
サービスとは、後列右の競技者が自コートのエンドラインのサービスエリア内に両足を置き、一方の手でインディアカの台を持ち、他方の手でアンダーハンドで腰より下の位置で相手側コート内に打ち込むプレーをいう。
- 8-3-4 サーバーが、インディアカを打つ際は、両足をエンドライン後方のサービスエリア内床面に置き、且つ、両サイドライン外側想像延長

- 12-2 打球許容部位
競技者がインディアカをプレーするにあたっては、必ず片手のひじから先の部位を使用しなければならない。打ち方は片手の平手、手の甲、握りこぶしなどいずれの方法でもよいが両手を同時に使ってはならない。（ブロックおよび相手競技者のアタックのレシーブを除く）
- 12-3 打球の条件
- 12-4 ドリブル
- 12-4-2 両手打ちはドリブルとなる。（ブロックおよび相手競技者のアタックのレシーブプレーを除く）
- 12-7 サービスのワンアタック
相手側のサービスを直接ブロックしたり、攻撃エリアからネットを越える高さから直接打ち返す行為は反則である。
- 14 後列競技者のアタックプレー
- 14-1-1 後列競技者のアタックプレーとは、左右いずれの競技者であっても、バックアタックライン後方より打ち込むプレーをいう。
- 14-1-2 後列競技者の左右いずれの競技者であっても、攻撃エリア内よりネットを越える高さより相手側コートに打ち込むプレーは反則である。
- 14-1-3 バックアタックラインは攻撃エリアに含まれる。
- 15-6 オーバーネット
インプレーの状態にあるとき、相手側コートに手を出した場合は、反則となる。
- 15-7 パッシング・サ・センターライン
インプレーの状態にあるとき、競技者が身体のいかなる部分もセンターラインを超え相手側コート及びサイド（フリーゾーン）に触れた場合は反則となる。
- 16 ポイントおよびサービスの移行
○相手側からのサーブを直接ブロックしたり、攻撃エリアからネットを越える高さから直接打ち返す行為は反則である。（直接返されるロブは除く）
○同一競技者が続けて2回インディアカに触れたとき、及び両手でプレーしたとき。ただし、ブロックおよびスパイクのレシーブを除く。（ドリブル）
○後列競技者が攻撃エリアからネットを越える高さから打ち返したインディアカがネットを越えたとき。（バックアタック）
○インプレーの状態にあるとき、競技者の身体の一部がセンターラインを超えて相手側コート及びサイド（フリーゾーン）に触れたとき。（パッシング・サ・センターライン）

われらインディアカ仲間

黒磯市インディアカ協会〈栃木県〉



全国のインディアカ愛好者の皆さん初めまして!!栃木県那須塩原市にあるインディアカ協会です。昭和61年に協会として設立し、栃木県大会においても当協会登録のチームが幾度となく優勝している伝統ある協会です。

平成元年、より協会の親睦を兼ね抽選にてチームを組みその日一日を楽しくプレーするという趣旨のさわやか大会が始まりました。

この写真は、黒磯市インディアカ協会として最後のさわやか大会のスナップです。大好きなインディアカを心から楽しみ、同じお弁当を食べ、沢山の参加賞を頂き、参加者全員心地よい疲れを土産に大会が終了しました。今後は西那須町インディアカ協会と合併し、新たに那須塩原市インディアカ協会として地域スポーツ発展のため活動して行きたいと思います。応援よろしくお願いします。!!

栃木県 塩谷町インディアカ愛好会



全国のインディアカ愛好者の皆さん初めまして、「栃木の田舎っぺ」で日光市の近くに住んでいる「塩谷町インディアカ好き者会」のメンバーです。

我が町は、宇都宮市の西北で全国名水百選に指定されている尚仁沢湧水もあり緑豊かな空気がきれいで、その上、美男美女と人情ある者がたくさんいる住み心地よい町です。

私の町は、インディアカがとて盛んで年5回の大会を行っています。秋には町民体育祭の種目に取り入れて楽

しんでいます。

特に、50歳以上の熟年者が楽しめるように、ワンタッチ方式で男女混合5人制の特設ルールを設け町内家族ぐるみでいい汗をかいています。

練習は週2回から3回、学校の体育館を夜間開放して行っていますが、愛好者の平均年齢が少々高く若者の入会が無いのが悩みです。

栃木県大会は年3回行っていますが、チームワークも良く上位に入賞することが多く関東甲信越ブロック大会にも時々参加させてもらっています。

最近、県外進出が楽しみで、今年も観光を兼ねて他県に行つてインディアカを楽しみたいので、是非声をかけて下さい。

●社団法人日本インディアカ協会役員一覧●

(平成17/18年度)

役職	氏名	所 属
会 長	吉田 正志	(財)日本レクリエーション協会顧問
副会長	丸山 正	八王子市レクリエーション協会会長
副会長	高橋 英雄	大阪府インディアカ協会会長
常務理事	押塚登貴夫	元・日本レクリエーション協会部長
理 事	井谷 正由	山形県インディアカ協会理事長
理 事	小森谷大次	千葉県インディアカ協会理事長
理 事	塩脇 紀子	船橋市インディアカ協会会長
理 事	瀬戸 章嘉	日本赤十字社大阪支部事業本部
理 事	田中系之助	愛知県インディアカ協会会長
理 事	野々宮 徹	愛知教育大学教授
理 事	本沢 光一	栃木県インディアカ協会理事長
理 事	松田 宇	愛知県インディアカ協会会長
理 事	宮田 紀栄	埼玉県インディアカ協会副会長
理 事	山口 松博	九州ブロックインディアカ協議会会長
監 事	田口 久男	(有)田口設備サービス代表取締役
監 事	武石記代子	東京都インディアカ協会副会長

都道府県インディアカ協会事務局一覧

(平成17年7月15日現在)

都道府県	郵便番号	住 所	電 話	F A X
北海道	041-0832	函館市神山1-28-10 永井方	0138-52-0369	なし
青森県	036-0151	南津軽郡平賀町大字石郷字柳田47-4 三浦方	0172-44-3197	0172-44-3197
岩手県	025-0037	花巻市西宮野目1-78 高橋方	0198-27-4171	0198-30-2491
宮城県	983-0036	仙台市宮城野区苦竹1-5-15-402 刈谷方	022-232-9090	022-232-2320
秋田県	010-1414	秋田市御所野元町7-12-2 川村方	018-889-8262	018-889-8262
山形県	990-2412	山形市松山2-11-30 山形県スポーツ会館内	023-633-0898	023-633-0898
福島県	960-0201	福島市飯坂町字下中川原2-15 高橋方	024-542-8131	024-542-8131
茨城県	310-0045	水戸市新原2-11-1 体育研修室内	029-255-0157	029-255-0161
栃木県	329-2332	塩谷郡塩谷町大宮2001-1 本沢方	0287-46-0126	0287-46-1100
群馬県	371-0018	前橋市三俣町1-14-29 栗原方	027-231-9693	027-231-9693
埼玉県	354-0032	富士見市渡戸1-8-3 小松原方	049-254-4165	049-254-4165
千葉県	285-0012	佐倉市田町22-31 小森谷方	043-485-7459	043-485-7459
東京都	192-0046	八王子市明神町4-29-9 八王子市レクリエーション協会内	0426-56-0901	0426-56-3709
神奈川県	253-0003	茅ヶ崎市鶴が台2-4-503 瀬下方	046-876-2237	046-875-6163
山梨県	407-0102	甲斐市団子新居1383-8 小松方	0551-28-4625	0551-28-4625
長野県	399-8102	南安曇郡三郷村温3040-2 ハーモニー学園内降旗方	0263-77-2377	0263-77-7312
新潟県	950-0891	新潟市上木戸5-9-49 井嶋方	025-275-4220	025-275-4230
富山県	939-1538	南砺市田尻130 干場方	0763-22-5387	0763-22-5387
石川県	929-1195	かほく市宇野気二81 かほく市役所内	076-283-1111	076-283-1116
福井県	910-0858	福井市手寄1-18-10 東方	0776-23-2066	0776-23-2066
岐阜県	500-8245	岐阜市上川手181-1 和田方	058-247-3154	058-247-3154
静岡県	425-0028	焼津市駅北3-16-26 薬科方	054-628-5519	054-628-5519
愛知県	475-0833	半田市花園町6-7-4 伊藤方	0569-23-2290	0569-23-2290
三重県	513-0804	鈴鹿市三日市南3-15-24 花田方	0593-82-4708	0593-82-4708
滋賀県	520-0046	大津市長等3-4-24 岡村方	077-524-1065	077-524-1065
京都府	619-0214	京都府相楽郡木津町木津宮ノ内8-120 吉岡方	0774-73-9137	0774-73-9137
大阪府	583-0995	南河内郡太子町太子1763 中谷方	090-1906-9523	0721-98-0425
兵庫県	658-0016	神戸市東灘区本山中町2-3-12-1101 本内方	078-436-8941	078-436-8941
奈良県	636-0143	生駒郡斑鳩町神南3-1-22 中村方	0745-74-3077	0745-74-3077
和歌山県	640-8033	和歌山市本町4-28 あずまスポーツ内	0734-28-2837	0734-28-2837
鳥取県	683-0253	米子市下安曇143-1 森方	0859-26-3293	0859-26-3293
島根県	697-0034	浜田市相生町1455-14 矢田部方	0855-22-1606	なし
岡山県	712-8007	倉敷市鶴ノ浦1-5E3-310 草薙方	086-445-0074	086-445-0074
広島県	734-0007	広島市南区皆実町5-14-1-709 中島方	082-255-2921	082-255-2921
山口県	743-0051	光市岩狩1-13-5 清松方	0833-77-2985	0833-77-2985
徳島県	772-0015	鳴門市撫養町北浜字宮の東125 森本方	088-685-9316	088-685-9316
香川県	761-8042	高松市御蔵町177-2 小岩方	087-886-3290	087-886-3290
愛媛県	791-2132	伊予郡砥部町大南1299 松田方	089-962-3170	089-962-3170
高知県	780-8040	高知市神田280-27 川添方	088-840-5250	088-840-5250
福岡県	811-1323	福岡市南区弥永1-34-1 原田方	092-591-8426	092-591-8426
佐賀県	842-0031	神埼郡三田川町大字吉田321-2 三田川町役場内 伊東方	0952-53-1111	0952-52-6189
長崎県	857-1174	佐世保市天神4-2-31 用田方	0956-33-0917	0956-33-0917
熊本県	866-0083	八代市植柳下町4252-2 柳口方	0965-34-0568	0965-34-0568
大分県	879-1505	速見郡日出町大字川崎277-1 中田方	0977-72-3034	0977-72-3034
宮崎県	880-0913	宮崎市大字恒久1020-1 長友方	0985-53-1001	0985-53-1001
鹿児島県	895-0042	薩摩川内市中福良町2363-10 井手迫方	0996-22-7484	0996-23-6480
沖縄県	901-2103	浦添市仲間3-1-11 比嘉方		